

社会福祉法人 湯河原福祉会

令和 7 年度事業報告

心花春・シーサイド湯河原（社会福祉事業）/浜辺の診療所（公益事業）

目次

I. 社会福祉事業.....	2
II. 公益事業の報告	5
III. 地域社会とのつながり	6
IV. 人材状況と育成	7
V. 役員会実施状況.....	8
VI. その他	9



I. 社会福祉事業

1. 心花春



令和7年度の平均稼働率は、特養 95.97%、短期入所 61.86%、通所介護 64.75%でした。

特養については、4月～12月までは入居者の状態が安定していたことに加え、短期入所から特養へ移行される方も多く、稼働率は高い水準で推移しました。しかし1月以降は体調を崩して入院される方が増え、最終的には例年並みの稼働率となりました。

短期入所は、通常利用に加え、退院が迫っているものの自宅へ戻れない方や、通所介護利用者の利用が中心でした。一方で、短期入所から特養へ移行される方が定期的にいたため稼働率が安定せず、前年度と比較して減少しました。

通所介護は、定員20名／日に対し18～20名の契約があるものの、利用者の入院や短期入所利用、体調不良による休みが重なり、結果として例年とほぼ同じ稼働率となりました。

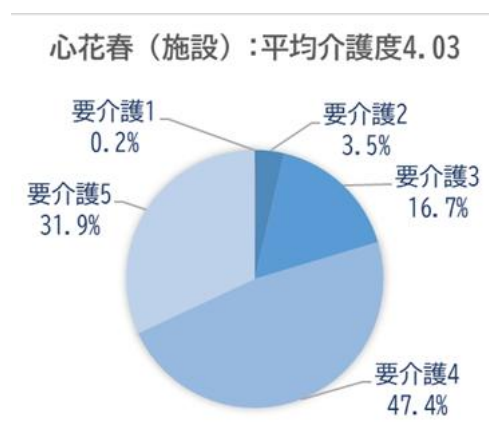
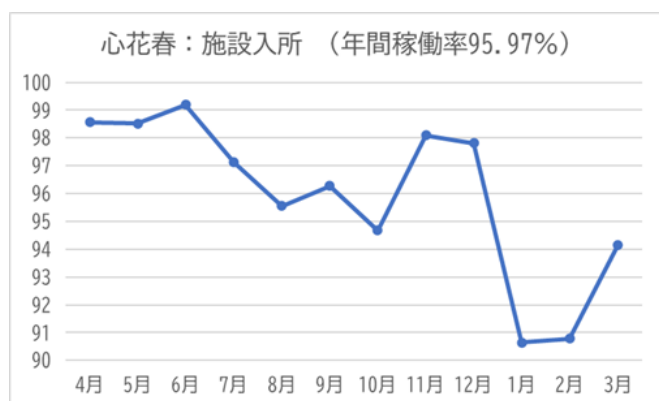
余暇活動については、年間計画に沿ってコロナ禍前とほぼ同様の規模でイベントを実施しました。敬老お祝い会、居酒屋こはる、ビアガーデンこはるなど、多くの利用者が参加できる行事を職員主導で開催しました。

事業計画重点項目に掲げていた「写真展」については、実施スペースの確保が難しかったため開催できませんでしたが、代替として入居者家族との連絡ツールを活用し、各入居者の写真データを共有しました。データでの共有については多くのご家族から好評をいただいています。

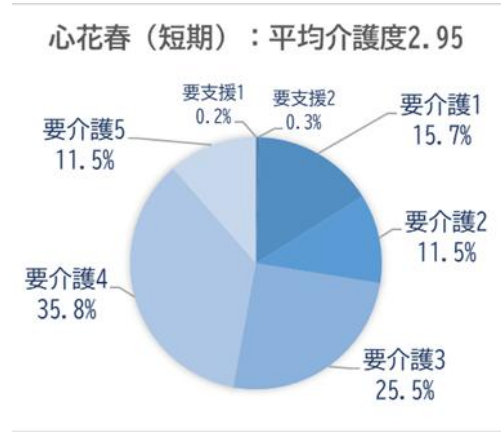
また、経年劣化が進んでいたA棟のリフォーム工事および、一部フロアへの見守り機器（積水化学工業株式会社「ANSIEL」）の導入を、事業計画どおり実施しました。これにより、入居者の生活環境と職員の就業環境の双方の改善を図りました。

各サービスの稼働状況は以下のとおりです。

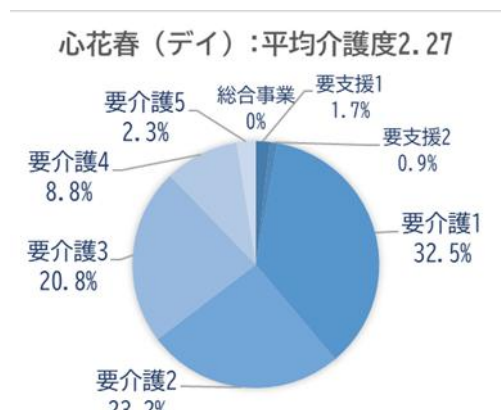
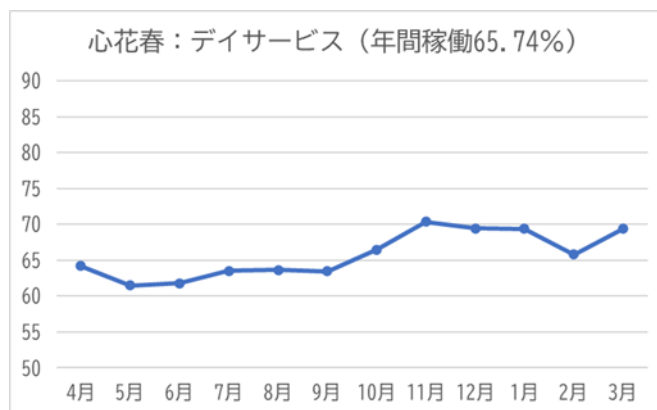
● 施設入所 [稼働率] 令和7年度：95.97% / 令和6年度：95.33% / 令和5年度：94.81%



● 短期入所 [稼働率] 令和7年度：61.86% / 令和6年度：68.05% / 令和5年度：60.35%



● 通所介護 [稼働率] 令和7年度：65.74% / 令和6年度：65.38% / 令和5年度：66.31%



2. シーサイド湯河原



令和7年度の平均稼働率は、特養 93.33%、短期入所 67.37%でした。

特養については、退所者数が27名と例年より多く、年度を通して入居されては、別の方が退居される状況が続いたこと、一時的にすぐ入居可能な待機者がいない状況が発生したこと、入院により月平均約47床分が空床となったことで、稼働率が減少する結果となりました。

短期入所においては、年間新規契約者が45件あった一方で、短期入所から特養へ移行される方もおり、安定した稼働率を維持できず減少する結果となりました。

余暇活動については、ご入居者が施設での生活の中に楽しみや役割を持ちながら過ごしていただける環境づくりに取り組みました。敬老会、七夕祭り、文化祭、クリスマスバイキングなどの季節行事では、内容や環境を見直し、より楽しんでもいただけるよう充実を図りました。また、ボッチャやカラオケ、体操などを通じた入居者同士の交流の場づくりや、中庭で野菜や果物を育てる活動を行い、自然に触れる機会も設けました。さらに、ユニットでの調理活動や食事の盛り付けに参加していただくことで、日常生活の中で役割を感じられるよう支援を行いました。

今年度重点項目である「知らないゼロ活動」として、面会時には短時間の居室やユニット内の入室を可能として、日頃の生活の様子や雰囲気を感じていただけるよう努めました。

加えて、重点項目として掲げた写真展の開催に向け、職員が日常の様子を撮影し準備を進めました。開催については準備の都合により令和8年度となりましたが、ご家族に安心していただける情報発信につながる取り組みとして継続してまいります。

今年度は、施設設備の経年劣化への対応に加え、安全確保を目的とした修繕および設備更新が重なり、多くの費用が発生しました。

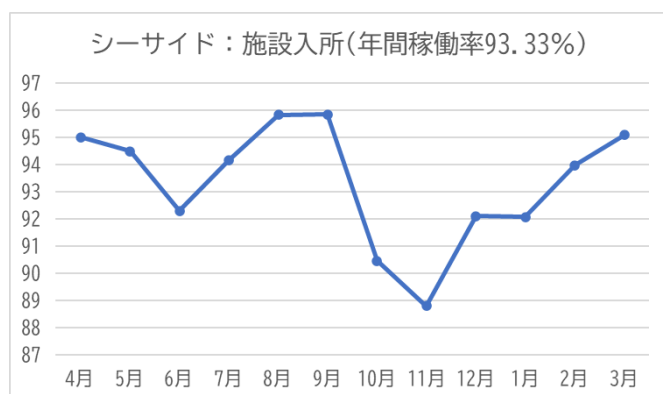
修繕関係では、台風による土砂崩れの復旧工事をはじめ、施設出入口の陥没修繕、階段電子錠の更新などを実施し、安全な施設環境の維持に努めました。

また、設備更新では、老朽化した居室エアコン12台の更新、エレベーター安全装置設置、汚物除去機更新、入館管理システム導入、受水槽ポンプ更新などを実施し、設備の安定稼働と安全性向上を図りました。

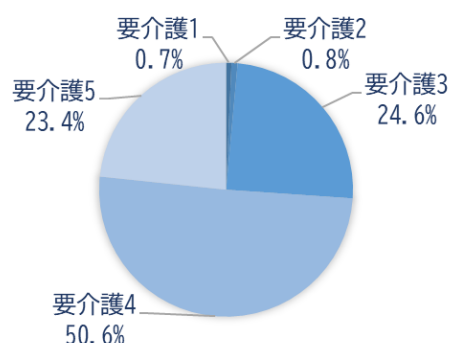
施設開設時の借入金2件のうち、神奈川県社会福祉協議会からの借入金については、本年度をもって返済が完了しました。一方、もう1件の借入金については、今後約8年間の返済を継続していく状況となっております。

各サービスの稼働状況は以下のとおりです。

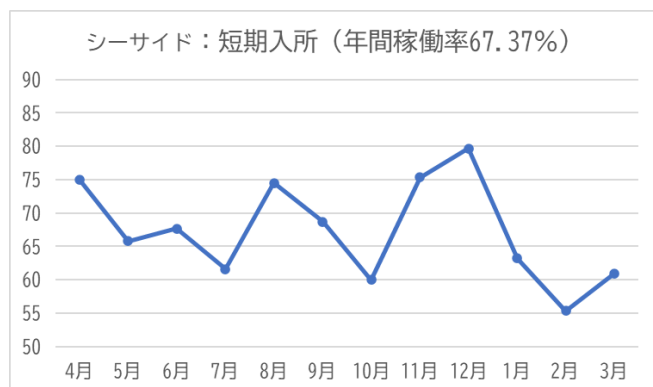
● 施設入所 [稼働率]令和7度：93.33% / 令和6年度：96.79% / 令和5年度：97.17%



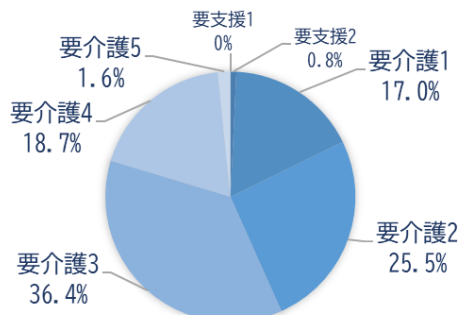
シーサイド（施設）：平均介護度3.94



● 短期入所 [稼働率]令和7度：67.37% / 令和6年度：74.99% / 令和5年度：73.20%



シーサイド（短期）：平均介護度2.47



Ⅱ．公益事業の報告

浜辺の診療所

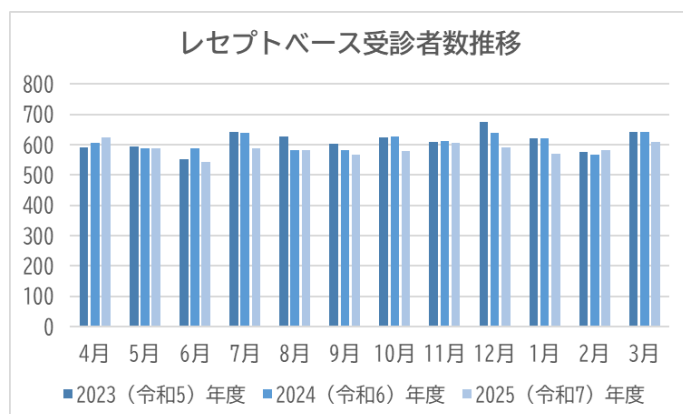


レセプト（国保連請求）を基にした受診者数の推移を、下記のグラフに示しています。

年間受診者数は、前年度比で約3.7%減少し、7,026人となりました。

受診者数が減少した要因としては、令和7年6月より稼働日が週5日から週4日に減少したこと、また生活習慣病関係の処方について、5～8週間投与群をほぼ一律に7～8週間投与へ移行したことが影響していると考えられます。さらに、湯河原・真鶴地域における医療需要は今後も減少が進むことが予測されており、加えて医療制度が転換期を迎えていることから、一診療所としての運営環境はより厳しくなることが想定されます。

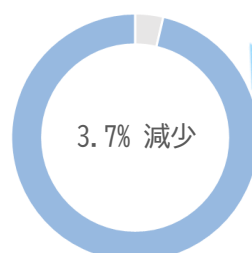
そのような状況下においても、地域医療を継続していくという視点を軸に、安定した医療提供に努めてまいります。



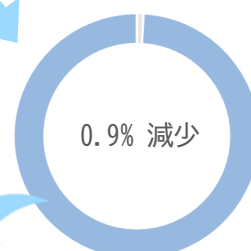
令和5年度 受診者数



令和7年度 受診者数



令和6年度 受診者数



0.9% 減少

3.7% 減少

Ⅲ. 地域社会とのつながり

- **講師派遣**
令和7年度は、湯河原町での認知症サポーター養成講座、小田原・足柄地区での介護技術講習会、真鶴町の食生活推進委員会、成人学級に講師を派遣しました。
また、一般社団法人シルバーサービス振興会から業務委託を受けている介護技能実習評価試験にも試験評価者を派遣しております。
- **家族介護相談**
湯河原町生活支援体制整備推進事業協議体の取り組みへ参加しています。
- **就労支援事業**
地域支援として生活クラブ生活協同組合と取り組んでいます。
- **高校生向け企業説明会**
静岡県三島市にある知徳高等学校にて開催された企業説明会に参加しました。
- **地域医療・福祉人材育成への協力**
地域医療機関より、認定看護管理者教育課程セカンドレベル臨地実習の受入れを行い、地域における医療・介護連携及び人材育成に協力しました。
- **地域団体との連携**
神奈川県退職公務員連盟足柄下郡支部の研修会受入れを行い、介護福祉への理解促進及び地域交流に努めました。
- **地域防災への取り組み**
湯河原町総合防災訓練へ参加し、地震の揺れを体験できる起震車を手配するなど地域防災活動へ協力しました。
- **地域交流活動**
東台福浦幼稚園芸術鑑賞会への参加や、地域サロン「楽しもう会」との共同作品展を開催し、世代間交流及び地域とのつながりづくりに取り組みました。
- **地域イベントへの協力**
湯河原町商工会主催の「ゆがわらフェス」へ協力し、土木会社による重機体験や起震車による地震体験ブースの運営に参画しました
- **国際交流・国際協力活動**
JICA草の根事業「Smart Strong Project」に参加し、タイ国を訪問しました。現地における高齢者福祉分野の関係者との交流や意見交換を通じ、高齢者福祉の発展に寄与しました。

Ⅳ. 人材状況と育成

【人材状況】

令和 7 年度は、特定技能外国人材を受け入れ、人材確保および介護体制の維持に努めました。各職種において人員配置基準を満たしながら運営を行ってまいりましたが、令和 8 年 2 月よりシーサイド湯河原において、専門職種が長期休養となり、一時的に人員配置基準を満たさない状況が発生しました。これに対し、法人内の心花春と連携し、ご入居者に不利益が生じないよう管理体制の維持に努めました。

また、看護職員については募集を行っているものの応募が少ない状況が続いており、一部欠員については派遣職員を活用しながら体制維持に努めました。

一方で、職員全体の定着率については高い水準を維持しており、業務改善や働きやすい職場環境づくり、多職種間の連携強化などの取り組みが一定の効果につながっているものと考えております。

【育 成】

令和 6 年度から外部研修への派遣を本格的に再開し、令和 7 年度も継続しました。介護福祉士ファーストステップ研修や認知症介護に関する研修をはじめ、職員の能力開発や啓発を目的とした研修に幅広く参加しています。さらに、バーセルインデックスの理解・活用、介護キャリア段位制度への取り組み、アセッサー研修への参加を通じて、職員の専門性向上および人材育成にも努めました。

内部研修では、例年同様オンデマンド形式の動画配信研修を実施し、研修内容の充実を図るために株式会社ベネッセスタイルケアが提供する「ケアヒント（Eラーニング研修）」を導入しました。

加えて、小田原・足柄地区福祉施設連絡会が主催する事例発表会において、「排泄ケアの新しい試み夜勤帯での見守りと排泄ケアの効率化」をテーマに研究発表を行いました。



V. 役員会実施状況

令和 7 年度の理事会・評議員会の実施状況です。

[理事会]

開催月	主な議案	開催方法
令和 7 年 6 月 7 日	・ 事業報告・決算報告 ・ 監事監査報告 ・ 給与規程の一部改正 ・ 理事・監事の選任候補者の推薦 ・ 評議員選任候補者の推薦 ・ 定時評議員会の招集 ・ 評議員選任解任補欠委員の選任候補者 ・ 評議員選任解任委員会の招集 ・ 有価証券の運用報告	対面
令和 7 年 6 月 28 日	・ 理事長及び業務執行理事の選定	対面
令和 8 年 3 月 17 日	・ 補正予算・次年度予算・事業計画 ・ 役員報酬規程の一部改正 ・ 経理規程の一部改正 ・ 給与規程の一部改正 ・ 運営規程の一部改正 ・ 賃上げ交付金支給規程の制定 ・ 借上げ社宅管理規程の制定 ・ 定時評議員会の招集	対面

[評議員会]

開催年月日	主な議案	開催方法
令和 7 年 6 月 28 日	・ 決算報告及び財産目録の承認 ・ 理事 6 名及び監事 2 名の選任	対面（WEB 参加 1 名）
令和 8 年 3 月 27 日	・ 補正予算・次年度予算・事業計画 ・ 役員報酬規程の一部改正	対面（WEB 参加 1 名）

VI. その他

令和 7 年度、各事業所の修繕および物品等の購入状況です。

修繕		
心花春	シーサイド湯河原	浜辺の診療所
A 棟 2 階雨漏り対策工事	中央階段 2 階・3 階扉修理	自動ドア修理
A 棟 1 階職員トイレ便座交換	出入口道路陥没修繕	便座ユニット交換
B 棟 1 階中庭ガーデン工事	土砂崩れ復旧工事	誘導等バッテリー交換
B 棟 3 階空調圧縮機交換	ナースコール設備修理	手摺設置工事
消火水槽排水管増設工事	浴室内ガラス入替	
B 棟受水槽停水弁取替	居室トイレ天井扇交換	
危険木伐採工事	1・2 号機 EV 戸開走行保護装置取付	
B 棟 1 階空調圧縮機交換	居室ハウジングエアコン入替	
A 棟 2・3 階内装改修工事		
購入		
高圧式受変電設備	ベッドマットセンサー	骨伝導サポートツール
汚物除去機	汚物除去機	
おむつ交換台車	電子錠入退館システム	
ハイブリッド加湿器	ハイローストレッチャー	
見守りセンサー「アンシエル」	手元スイッチ	
火災通報装置	厨房食器	
シャワーキャリー	消火器 27 本交換	
厨房食器	受水槽加圧ポンプ	
災害時用ハザードトーク		

